

外来血管造影検査の検査説明用紙の問題と改善点

—患者アンケート調査を実施して—

中央放射線部

○高尾敏江 手島真理子

1. はじめに

近年、医療や技術の進歩に伴い、さまざまな分野で日帰り検査や手術が行われるようになってきた。中央放射線部では、外来血管造影検査（以下外来 DSA と略す）を行っている。この検査は、上腕動脈より血管造影検査を行い、翌日止血確認を行うといった内容の検査であり、外来 DSA を受ける患者は、ほとんどが閉塞性動脈硬化症（以下 ASO と略す）で、近年増加傾向にある。

外来での検査、手術などの治療が増加している今日、術前の注意事項を記載した患者説明用のパンフレットが果たす役割は大きく、看護場面でも教育やオリエンテーションに多用されている。現在、外来 DSA のオリエンテーションは、検査予約時にオーダーリング上の検査についての注意事項が書かれている検査説明用紙（以下説明用紙と略す）（表 1）を使用している。しかし、説明用紙で抗凝固剤の内服中止を記載しているが、内服中止ができておらず止血時間が長くなる、自動車の運転をして来ないように記載しても自動車で来院し帰宅に困る、前開きで袖口の広い服でないため着替えができないなど、説明用紙に記載してある注意事項が患者に伝わっていない場面に遭遇する。

これらの原因はどういった問題点に起因するのかを検討するため、過去に外来 DSA を受けた患者にアンケート調査を行い、これらの問題を明確にし、その改善点について考察した。

2. 調査対象及び期間

1) 対象

平成 13 年 4 月～平成 14 年 9 月に外来 DSA を受けた患者 64 名

2) 期間

平成 14 年 9 月 18 日～平成 14 年 9 月 28 日

3. 研究方法

チェック項目方式で最後に自由記載欄を設けたアンケート用紙を使用し、郵送アンケート調査を行い、結果を集計し、説明用紙についての問題点を抽出する。

4. 結果及び考察

アンケートの回収率は81%で、その年齢層は27～87歳、平均70歳で男女比は46人：6人、疾患別ではASOが94%で最も多かった(図1)。

文章の視覚的読みやすさ(文字の大きさ)については、ちょうどいい37人(71%)、字が小さい12人(23%)であり(図2)、文字の大きさについては適当であると考えたが、「高齢者には文字が小さくかなり読みづらいと思いますし、内容も多彩で理解把握するのも大変」という意見もあり、さらに文字を大きくする方が望ましいのではないかと考える。

次に、文章の読みやすさ(文章の内容)については、安本¹⁾の測定方法(表2)で測定した結果、「文の長さ」では1文中平均文字数は24字、「漢字の数」では1,000字あたり484字であった。この結果を、表3・4のものさしでみると「大変文が短い」「大変漢字が多い」となり、現在の説明用紙は、文の長さは学歴でいうと小学生程度の非常に読みやすいものであるが、漢字の数でみると専門学術論文並の難しい内容であるといえる。これは、文章を簡潔にしようと短くするあまり、漢字を多用してしまったことが考えられる。これに対し私たちは、現在の文章をやさしい言い回しに変え、漢字数を減らす必要があると考えた。しかし、アンケートでは説明用紙の内容を、94%の人が理解できたとしている。

この結果は私たちの予想とは異なっていたが、これは説明用紙を読んだ人は(図3)に示すように、家族と共に読む人が27人(52%)と多く、このような結果が得られたのではないかと考える。

次に、説明用紙を読んだ人は48人(92%)、読んでいない人は4人(8%)で、説明用紙を読んだ時期については、帰宅時90%、検査1週間前10%、3日前19%、前日48%であった(図4)。説明用紙を読んだ回数で、A群(一度も読んでいない)、B群(帰宅時にのみ読んでいる)、C群(帰宅時、検査前の少なくとも2回以上読んでいる)に分類するとそれぞれ4人(8%)、18人(34%)、30人(58%)となり(図5)、抗凝固剤内服中止について(図6)、中止できなかった4例(8%)はすべてA群に含まれていた。このことは、予約時の説明だけでは不十分で帰宅後説明用紙を読む事が重要であることを示している。今回の調査ではB群とC群に差は見られなかったが、予約後説明を受けてから検査まで1～3ヶ月の期間があり、説明された内容を忘れることも考えられ、検査日近くに再度読まれる事が重要であると考えられる。

川島²⁾はパンフレットの効果とは「話し言葉で説明した内容を、さらにイラストや文字を用いて、読み手に印象づけようとするものである。時間経過を経て後に読んでも、忘れていた記憶を再現できる。また、口頭での説明を強調でき、理解しやすくするための効果的な一方法である」と述べている。このことから、繰り返し説明用紙を読む事が非常に重要であり、また、戸塚ら³⁾のパンフレットを使用した研究でも、「聞くだけでなく、パンフレットを読むこと、ビデオを見ることでよりイメージがわき、効果的である事も判った」と述べていることから、大切な事はイラストなどを用いて強調し、再度読み返したときに、読みやすく容易に理解できるような説明用紙を作成することが大切であると考えられる。

最後に記載内容についてのアンケートでは、実際に患者が希望しているのに現在の説明用紙には記載されていない、また、説明が十分でない項目がみられた。内訳は検査の時間 33%、検査内容 40%、検査後の事 35%で、主に検査に関しての事が大半で、その他、帰宅後の事、費用、内服薬、食事の順であった(図7)。これらの内容は一部説明用紙に書かれているが、十分でなく、実際に患者が必要としている情報を組み込んだ説明用紙を作成する必要がある。

5. 結 論

- 1) 文字の大きさは、適当であると考えられたが、更に、大きくするのが望ましい。
- 2) 読みやすさの測定では、文章の長さは短く、漢字が多く難しい内容であったがアンケートでは 94% が理解できていた。
- 3) 帰宅後、説明用紙を繰り返し読むことで検査についての注意事項が遵守できていた。
- 4) 説明用紙の内容には患者の欲しい情報が不足しており、内容の追加、充実が必要である。

6. おわりに

今回の、アンケート調査により、現在の説明用紙の問題点を抽出し、改善点を見出すことができたが、実際に説明用紙の改善までには至らなかった。今後、今回の結果をふまえて患者にとって読みやすく、理解しやすい説明用紙を検討していきたい。

引用・参考文献

- 1) 安本義典：説得の文章術，宝島新書，1999.
- 2) 川島みどり：パンフレットの使われ方と使い方，看護技術，33(6)，p633-639，1987.
- 3) 戸塚美幸他 3 名：心臓カテーテル検査オリエンテーション用紙作成とその評価，袋井市民病院研究誌，7(1)，p145-142，1998.
- 4) 栗林のり子：パンフレットの読みやすさの測定，第 32 回日本看護学会論文集（看護教育），p29-31，2001.

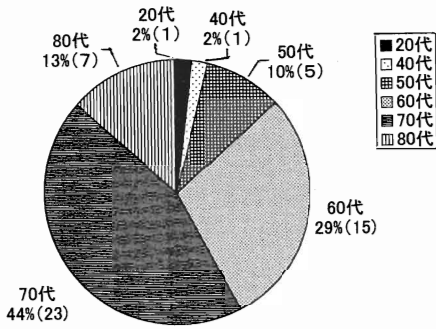


図1 年齢層 (n=52)

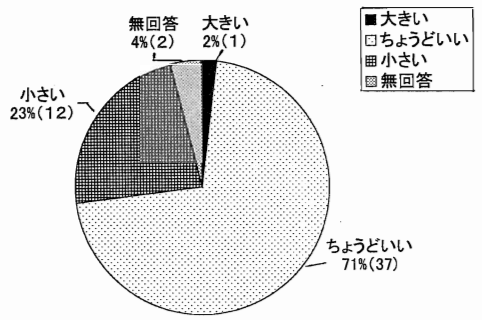


図2 字の大きさ (n=52)

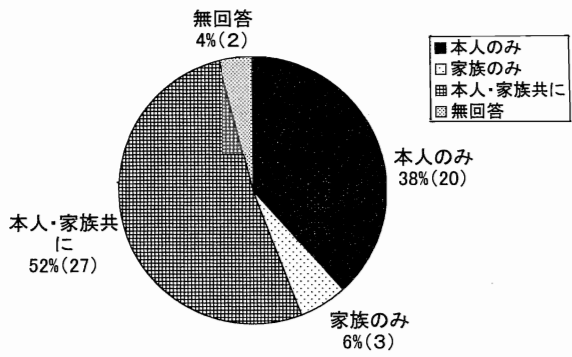


図3 説明用紙を読んだ人 (n=52)

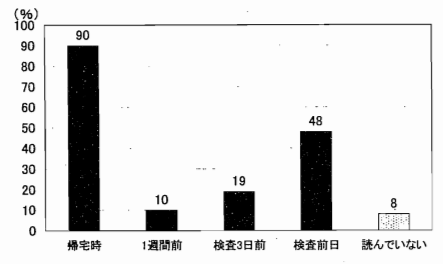


図4 説明用紙を読んだ時期 (複数回答) (n=52)

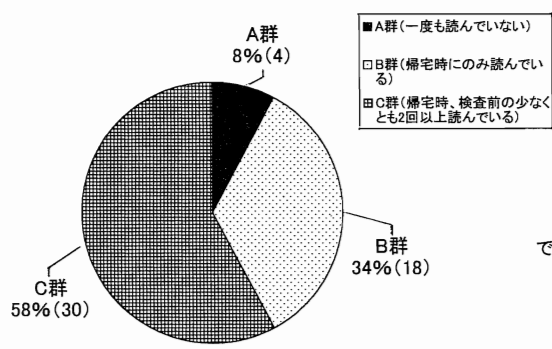


図5 説明用紙を読んだ回数 (n=52)

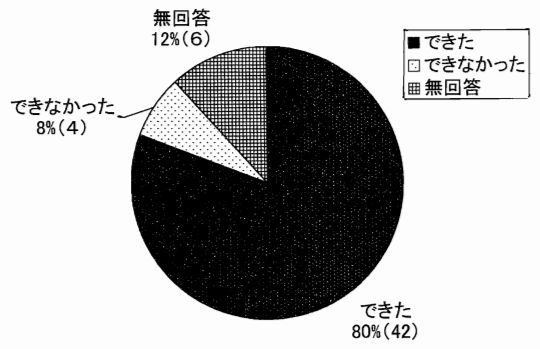


図6 抗凝固剤内服中止について (n=52)

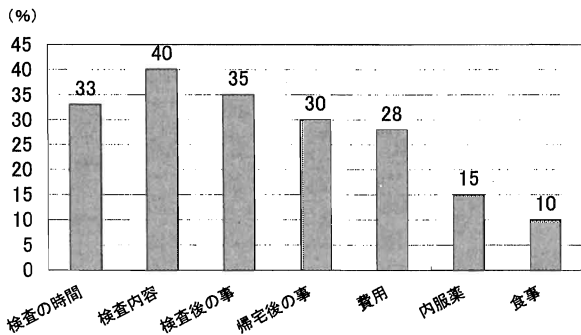


図7 記載内容について(複数回答)(n=52)

表2 安本の読みやすさの測定方法

一文の平均文字数の測定方法

$$\frac{\text{説明用紙の20個の文の文字の数}}{20} = 2.4 \text{ 字}$$

漢字の数の測定方法

$$\text{説明用紙の最初の文から500字の漢字数} \times 2 = 484 \text{ 字}$$

表1 検査説明用紙

IA-DSA検査を受けられる方へ

様 氏名: _____

性別: _____ 生年月日: ____年 ____月 ____日 年齢: ____才

検査日時: ____月 ____日()、 ____時 ____分

※この検査は、腕の血管(動脈)から細いカテーテルを挿入し、造影剤を注入して血管の形態や機能的障害を診断するレントゲン造影検査です。検査時間は約1時間です。

1. 検査前の準備

前日	<input type="checkbox"/> 検査は検査当日の夜まで中止をします。 <input type="checkbox"/> 検査当日は前夜から禁食をします。
当日	<input type="checkbox"/> 検査は検査当日の午前中に行われます。 <input type="checkbox"/> 検査当日は検査当日の午前中から禁食をします。 <input type="checkbox"/> 検査当日は検査当日の午前中から禁食をします。 <input type="checkbox"/> 検査当日は検査当日の午前中から禁食をします。

2. 検査後の注意事項

造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。

3. 検査後の注意事項

造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。
 造影剤は、造影剤アレルギーの恐れがあります。造影剤は造影剤アレルギーの恐れがあります。

2016.10.19 3.12.05 東京大学医学部附属病院 放射線科 放射線科 放射線科
0744-22-3051(代表)

[1412]

表3 文の長さについてのものさし

文の平均の長さ	評価	相当する学歴など	相当する雑誌など	現代作家の文章の中で占める率
74字以上	大変文が長い	大学生程度	専門雑誌・新聞	7%
51~73字	やや文が長い	大学生程度	専門雑誌・新聞	24%
37~50字	ふつう	高校生・中学生程度	総合雑誌の文芸小説	38%
27~36字	やや文が短い	小学生程度	児童雑誌・大衆雑誌	24%
26字以下	大変文が短い	小学生程度	児童雑誌・大衆雑誌	7%

表4 漢字についてのものさし

1,000字あたりの漢字の数	評価	相当する学歴など	現代作家の文章の中で占める割合
406字以上	大衆漢字が多い	専門学術論文	7%
353~405字	漢字がやや多い	大学生程度	24%
300~352字	ふつう	高校程度	38%
247~299字	漢字がやや少ない	中学生程度	24%
246字以下	大衆漢字が少ない	小学生程度	7%